

2022年12月16日

イオンモール株式会社

CDP 気候変動調査 評価結果に関するお知らせ 「A-」の評価を獲得



イオンモール株式会社（以下、当社）は、国際的な環境調査と情報開示を行う非営利団体CDPにおいて、気候変動への戦略及び対応が評価され、昨年取得した「B」スコアより1段階高い「A-」評価を取得しました。

当社は、脱炭素社会の実現のために「イオンモール脱炭素ビジョン」を掲げ、2040年までに直営モールにおいて100%地産地消の再生可能エネルギー（約14億kwh/年）で運営し、国内で排出するCO₂等を総量でゼロとすることをめざしています。この長期目標の実現のため、2025年度までに国内全モールの使用電力をすべて再生可能エネルギーに転換することを中間目標としています。

今後も脱炭素社会の実現に向けて、地域における地産地消の再エネ発電を調達するために、より複合的な再生可能エネルギーの調達網の拡大を図り、脱炭素社会実現に貢献してまいります。

【イオンモール脱炭素ビジョンに基づく主な取り組み】

➤ 地域とともに地産地消の再生可能エネルギーを創出

当社は、100%地産地消の再生可能エネルギーを運用することを目的に、2022年9月より「イオンモール まちの発電所」の稼働を開始しました。全国にある約740か所の低圧太陽光発電所で発電した電力約65MWを自己託送方式※1で、全国のイオンモール約30施設に電力供給します。この取り組みは、みずほグループ各社などと取り組む国内最大規模のオフサイトコーポレートPPA※2となる見込みです。



※1：遠隔地の太陽光発電設備で発電した電気を、送配電事業者の送配電設備を利用し、自社施設または自社グループの施設へ送電すること。

※2：発電事業者と電力需要家が、あらかじめ合意した価格及び期間における再エネ電力の売買契約を締結し、オフサイトで発電された再エネ電力を送配電事業者の送配電設備を利用し、電力需要家へ供給すること。

➤ お客さまと共に「V2AEONMALL」を推進

「V(Vehicle) 2AEONMALL」は、家庭内で発電した電力をイオンモール駐車場の放電スポットにて放電することで、ポイントなどをイオンモールアプリ内で進呈。貯まったポイントは買い物などで利用できる仕組みです。これまでの関西電力(株)・(株)エネグート・堺市との数年間にわたる実証実験を経て、関西エリアの堺鉄砲町・堺北花田・橿原の3店舗における2023年度中の事業化を目指しフェリカポケットマーケティング(株)を加え、システム開発をしています。将来は当社だけでなく地方自治体と連携し、地域内でのサービス展開を検討しています。



■ CDPについて

CDPは、運用総資産130兆米ドルを超える680以上の機関投資家等の要請により、温室効果ガス排出削減活動や気候変動緩和などの環境問題に関する企業の戦略及び対応を調査し、その結果を公表している非営利団体です。今回の調査では、約18,700以上の企業がCDPを通じて環境問題に関する戦略及び対応について情報を開示しました。企業は「A」から「D-」のスコアで評価、公表され、評価結果は機関投資家による投資判断などに活用されています。

■ 「ESGデータブック2021」

当社のサステナビリティに関する取り組み事例についてご確認いただけます。

<https://www.aeonmall.com/sustainability/approach/esg/>

P11-37 環境データ

その他、当社の事業活動については以下をご覧ください。

コーポレートサイト : <https://www.aeonmall.com/>

– サステナビリティ活動 : <https://www.aeonmall.com/sustainability/>

– インベスター・リレーション(IR) : <https://www.aeonmall.com/ir/>



【本件に関する問い合わせ先】

イオンモール株式会社 社長室広報グループ TEL: 043-212-6733